

【参考資料2】答申の個別事業対応について

指 摘 内 容 （ 答 申 よ り ）	対 応 内 容	所 管 課
<p>提案公募型補助金については、補助金対象者に対して、同補助金の趣旨が自立のための補助であることを周知し、理解してもらう。</p> <p>併せて、補助金対象事業が、初年度に限らず、2年後、3年後、そして補助金が終了する4年後についてどのように事業収支を計画しているかを審査する。</p>	<p>提案公募型補助金の目的・制度概要について、より分かりやすい周知方法を検討しながら、様々な切り口からの新たな事業の提案を促すような主管課と一体となった情報提供に努める。</p> <p>また、自由な発想に基づいた提案の妨げとならないよう、申請書類の作成は極力負担を軽減し、最低限のものとしているため、次年度以降の事業計画・収支計画は示してもらっていないが、プレゼンテーションの際、事業の自主性について十分な審査が出来るようヒアリングのやり方を工夫する。</p> <p>4年目以降の事業継続の実態を踏まえ、制度の検証と必要な見直しを行う。</p>	<p>財政課</p>
<p>薩摩川内市のめざす都市像については、「市民が創り 市民が育む 交流躍動都市」と明示されているが、今ひとつ明瞭ではない。</p> <p>「第1次薩摩川内市総合計画」の中には、基本構想は「まちづくりの全領域にわたる中長期的な目標であり、本市としてのあるべき姿、目指すべき方向を示します」とうたっている。薩摩川内市が目指す都市像（ビジョン）をもっと市民が分かるように具体的に示すことを要望する。</p>	<p>現在の基本理念及び将来都市像は、合併時に新市の一体感醸成等のため策定した、新市まちづくり計画を継承したものである。</p> <p>今後も、市民、地区コミュニティ、市がお互いの信頼関係を築きながら共有できる将来像を描けるように、分かりやすい説明に努めて参りたい。</p>	<p>企画政策課</p>
<p>定住支援策について、市外へのPRを徹底するとともに、既存の分譲住宅の状況を分析することにより定住促進に繋げる。</p>	<p>定住支援策は、今後も引き続き積極的なPRを進め、分譲住宅についても、関係機関と連携を取りながら、情報把握に努め、情報発信を促進したい。</p>	<p>企画政策課</p>
<p>地区コミュニティ協議会について、そのしくみや役割を今一度市民に周知する必要がある。また、地区コミュニティ協議会の編成（統廃合）についても、必要に応じて検討する。</p>	<p>年1回地区コミュニティ協議会の仕組み等について、広報紙を通じて周知する。</p> <p>地区コミュニティ協議会の編成（統廃合）については、地区の特性等を勘案し、必要に応じて検討する。</p>	<p>コミュニティ課</p>

【参考資料 2】 答申の個別事業対応について

指 摘 内 容（ 答 申 よ り ）	対 応 内 容	所 管 課
<p>地球温暖化対策に向けた取組を、他団体に先駆けて本市が推進することを検討する。</p>	<p>地球温暖化対策に向けた取組は、本市で策定した環境基本計画に基づき実施しているところである。</p>	<p>環境課</p>
<p>甌島の医療体制については、住民の生活に直結する関心事であり、医療体制の構築に向けて取り組む。</p>	<p>甌島地域各診療所の医療従事者の確保及び医療機器の整備による医療環境の改善を図り、住民に安定した医療サービスを提供する。</p> <p>また、各診療所の経営統合を図りつつ、病院化、診療科目の充実等を進める。</p>	<p>地域医療対策課</p>
<p>甌島において、教職員住宅の空き住宅を有効活用する。</p>	<p>恒久的に利用が見込まれないと判断された教職員住宅については、現在においても、所管替えを行い、一般住宅としての活用に努めている。</p>	<p>教育総務課</p>
<p>市内の文化財について、市民に広く周知するとともに、その有効活用についても検討する。</p> <p>また、文化財マップについても、PRの手段として活用する。</p>	<p>郷土芸能などの伝統文化について、発表や披露を積極的に推進し、必要に応じ文書や映像記録等収蔵データの貸し出しなど、市民への周知ならびに継承活動を支援する。</p> <p>市内の指定文化財散策や現地学習等に文化財マップの活用を推進する。また、旅館やバス、タクシー等の観光事業者についても、マップを活用した観光ルートの設定を推進する。</p>	<p>文化課</p>